

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 燈影学園

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒607 - 8025
京都市山科区四ノ宮柳山町29

E-mail toueigakuen@ittoen.ed.jp

Website http://www.ittoen.ed.jp

児童生徒数 男子 58 名 女子 37 名 合計 95 名
 児童・生徒の年齢 7 歳～ 18 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

A) 小学生による街頭募金活動（11月26日）

ユダヤ・アラブ青少年共学共存推進支援への街頭募金運動を行いながら平和について学習をした。募金で集まった基金は戦争で敵対関係にあるイスラエルとパレスチナの子供たちが一緒に学校で学ぶ Hand-in-Hand の運動を支援するもので、これまで両民族の約千人のお生徒が4つの小学校で共に遊び、共に学んでいる。本校の小学生が平和活動の一環としてJR山科駅前街頭で行った募金活動に対して当該共学共存推進支援団体から感謝状が届いた。また、同じ日に東日本大震災被災地支援に向けた街頭募金運動を行いながら、防災についての学習を行った。

B) 小学生による伝統文化の学習（9月26日）

世界遺産・平安神宮の庭園清掃奉仕活動。
世界遺産を外から観賞するだけでなく、遺産の保全作業の一部としての庭園掃除の体験学習をした。体験学習は過去のものとして世界遺産に接するのではなく、過去・現在・未来と続く遺産存続の仕事の中に子供たちを組み込むことになり、それへの参加意識こそが子供たちが引き継ぎ学んでいく伝統文化の学習内容を深いものにさせる。

C) 中・高校生による環境学習（11月28日）

大阪四天王寺の大念仏寺での清掃奉仕活動 – 後始末の学習。
地球環境問題は後始末の問題だと言える。後始末が完全であれば空気や河川の汚染は起こらない。地球の温暖化も然りであり、使用済み核燃料はその最たるものである。
地球環境問題は後始末にあり、その原点は自分が食べたものを自分で後始末することから第一歩が始まるものとする。即ち、環境の問題は一人一人の問題であり、それぞれの心の中に潜んでいることへの気づきの学習をした。

D) 全校生による食育の学習（通年）

命への感謝。
食育の教育では食品の知識や栽培・飼育・猟漁方法などの生産地や生産者の知識を理科と社会の授業の中で教えているが、本校では捧げてくれる動植物の命に感謝する教育を毎日の昼食時に食作法として行っている。食作法では黙食することで命に向き合い、食べ残さないことで捧げられ命に最大限の感謝を表す。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）